

報道関係者各位

2015年3月31日 発行

リクルートテクノロジーズが URL を発信するビーコンデバイスと専用アプリを開発 バス停に近づくだけで、スマホに時刻表を表示可能に!? ～「検索する時代」から「今必要な情報は周りに落ちている時代」へ～

株式会社リクルートテクノロジーズ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中尾隆一郎、以下:リクルートテクノロジーズ)の研究開発機関アドバンステクノロジーラボ(以下、ATL)は2015年3月、IoT技術研究の一環で、URLを発信するビーコンデバイスと、スマートフォン専用アプリを実証実験のために開発しました。

バス停やレストランにビーコンデバイスを設置することにより、近づいた人のスマートフォンが、バスの時刻表や接近情報、レストランのメニューといった「その場に必要情報」を自動で取得・表示可能になります。

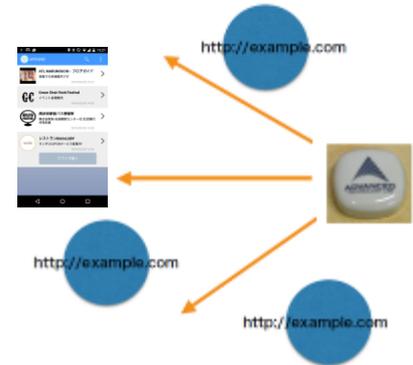
■注目ポイント

- ① リクルートテクノロジーズの研究開発機関 ATL が、UriBeacon の仕様に準拠したビーコンデバイスを開発
- ② 専用アプリにより、「バス停の時刻表」「レストランのメニュー」等、現在地に応じた情報を取得・表示可能に
- ③ 「検索する時代」から「今必要な情報は周りに落ちている時代」へ—IoTの世界観が変わる?

① リクルートテクノロジーズの研究開発機関 ATL が、UriBeacon の仕様に準拠したビーコンデバイスを開発

リクルートテクノロジーズの ATL は、世の中の先進的技術からソリューションを作り出し、将来のリクルートグループのサービスへの接続を模索するプロダクトアウト型の先端研究組織です。このたび IoT 技術を有効活用するための一手として、Bluetooth LE で URL を発信するビーコンデバイス、および専用のスマートフォンアプリを開発し、実証実験を実施しました。

リクルートテクノロジーズが開発したアプリと連動させることにより、ビーコンデバイスの近くを通るだけで、自動で URL、およびその URL に紐づいた「タイトル・サムネイル画像・説明」といった情報を取得・表示することが可能です。



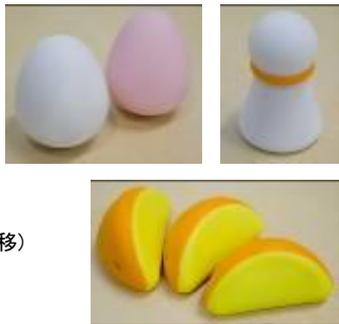
本デバイスは、グーグルが 2014 年 10 月 3 日に発表した PhysicalWeb プロジェクト^{※1}において定義されている UriBeacon^{※2}の仕様に準拠しています。下記のような実用化につながり得る特徴を持ち、実際に体験することができます。

【特徴】

- I. 電池や管理のためのスイッチボタン、インジケータ LED などを装備しており、PC などに接続することなく動作可能。
- II. 市販製品レベルのしっかりとした筐体のデザイン
- III. 常時起動させた状態で 4 年以上(機種によっては約半年間)電池が持つ。

【単4電池型】

- 公称電池容量
単4電池2本: 1800mAh
- 消費電流
URL発信時: 0.050mA
(1秒ごとに発信)
10~100μA付近を周期的に遷移)
- URL設定時: 8.4mA
- 電池持ち
1500日程度(常時発信し続ける場合)



【ボタン電池型】

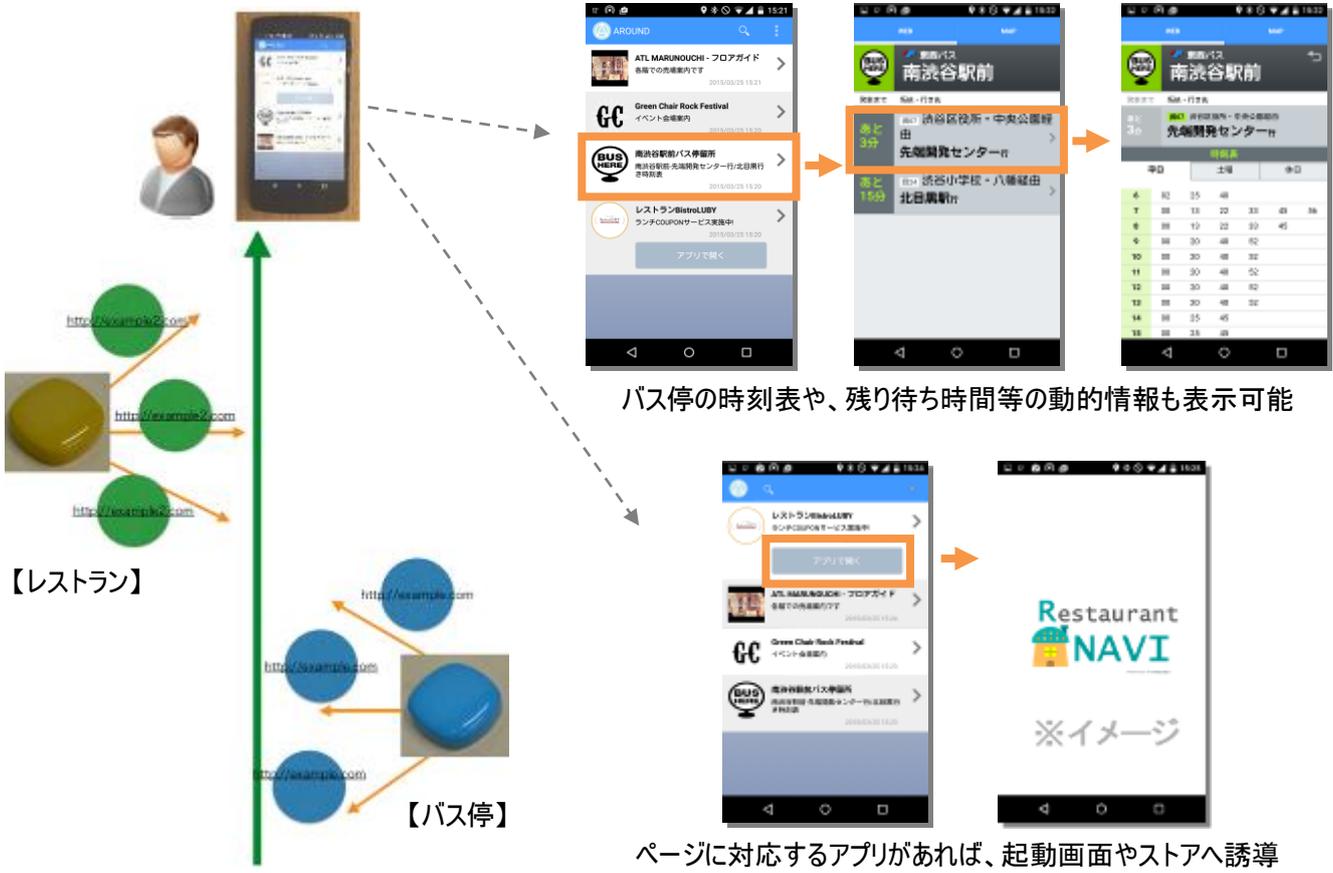
- 公称電池容量
CR2032: 220mAh
- 消費電流
URL発信時: 0.050mA
(1秒ごとに発信)
10~100μA付近を周期的に遷移)
- URL設定時: 8.4mA
- 電池持ち
183日程度(常時発信し続ける場合)



② 専用アプリにより、「バス停の時刻表」「レストランのメニュー」等、現在地に応じた情報を取得・表示可能に

URL発信型のビーコンデバイスに近接すると情報を取得できる、専用アプリを開発しました。例えばビーコンデバイスを設置したバス停やレストランに近づくと、時刻表やバスの接近情報が表示されたり、レストランのメニューやクーポンが表示されたりといった活用方法が想定されます。

【想定される利用場面】
URLを発信するビーコンデバイスが普及した世界の中を、本アプリをインストールしたスマートフォンユーザーが歩いているとします。ユーザーがアプリを開くと、アプリが自動収集した周囲のURLや関連情報が、時刻や位置情報とともにリストアップされており、興味のある情報をタップするとブラウザが起動、目的の情報を得ることができます。



③ 「検索する時代」から「今必要な情報は周りに落ちている時代」へ—IoTの世界観が変わる？

「バス停に着いたら次のバスがいつ来るか知りたい」、「レストランに着いたらメニューを見たい」など、「まさに今、その場所で欲しい情報」は、インターネット上にデータを置いてわざわざ検索する手間がかかるため効果が薄く、看板やポスターなどアナログな媒体との相性が良いと考えられてきました。

こうした場面で本デバイスは電光掲示板を設置する等の大きなコストをかけることなく、アナログ媒体のデジタル化を進めることができ、その結果「今バスがどこを走っているか」等、動的な情報を得ることも可能になります。

今後リクルートテクノロジーズはスマートフォンによる情報取得を念頭に調査・研究を行っていく予定ですが、こうした実験が「今必要な情報は周りに落ちている」という新たな情報消費スタイルを生み、将来的にはスマートグラスを介して、SF 映画のように周囲の至る所から発信される情報を観られるような未来にもつながり得ると考えています。

～情報消費スタイル(イメージ)～

2000年以前: BROADCAST
テレビ、ラジオ、雑誌が、みんなに届ける。
生活者はチャンネルを選択。

2000年: PULL
見たいものを見たいときに見る。
消費者は欲しい情報を検索。

2010年: PUSH
自分に関係する情報、
欲しい情報のアップデートが即座に手元に届く。

201X年: PICK
今必要な情報は周りに落ちている。

◇ 会社概要

株式会社リクルートテクノロジーズは、リクルートグループのビジネスにおける IT・ネットマーケティングテクノロジーの 開発・提供を行う機能会社です。IT・ネットマーケティング領域の専門力・イノベーション力で、リクルートグループのビジネスを進化させることがミッションであり、「次世代技術の R&D・新ソリューションの開拓」「ビジネスの実装」といったテーマに取り組んでいます。

- 社名 : 株式会社リクルートテクノロジーズ
- 設立 : 2012 年 10 月 1 日
- 資本金 : 1 億円
- 従業員数 : 321 名 (2014 年 11 月 1 日現在)
- 事業内容 : IT・ネットマーケティングテクノロジーの 開発・提供
- Web サイト : <http://recruit-tech.co.jp/>

◇ アドバンスドテクノロジーラボ(ATL)について

株式会社リクルートテクノロジーズ内の研究開発組織であり、多くのサービスを持つリクルートグループの中で、新しい技術の開拓や次のトレンドをいち早く察知し、未来のサービスにいかせるソリューションを生み出す部署です。日常業務では使わないような新しい技術を噛み砕き、使いこなし、その技術をビジネスの武器となるような形で追求していける環境を設けています。

◇ 参考情報

※1 PhysicalWeb プロジェクト (<https://github.com/google/physical-web>)

グーグルが開発中の、Web 技術を利用して IoT でモノと対話できる仕組みをつくることを目的としたプロジェクト。具体的な技術内容は明かされていないが、開発状況が Web 上に公開されているため、技術内容を推測することが可能。

※2 UriBeacon (<https://github.com/google/uribeacon>)

PhysicalWeb プロジェクトの中核と推測される仕様であり、URI データ (URL および uuid) を含むパケットを周囲に定期的に発信するビーコン。

本件に関する報道関係様からのお問合せ先

株式会社リクルートテクノロジーズ PR 事務局 大畑(オオハタ)・池田(イケダ)・大澤(オオサワ)

TEL: 03-5545-3888 FAX: 03-5545-3887 MAIL: rtc-ml@aur.co.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂森ビル 5F